

農業機械の共同利用から一歩ずつ

【類 型】 農業機械の共同利用

【組 織 名】 都積営農組合（令和5年9月設立）

【所 在】 高知県高知市土佐山都積

【農業地域類型】 山間農業地域

【構成戸数・人数】 9戸・9人

【経営規模】

チッパー総使用時間 182時間



設立総会（令和5年）

設立の経緯

- 令和4年に「倉庫を建てたい」などの都積地区の意向から、集落営農組織を検討することになった。
- 令和4年8月から集落営農の話し合いを行う。
- 既存の都積集落協定営農受託部会（チッパーシュレッダーの作業受託組織）を母体に、集落営農に取り組むことになった。

取組の特徴・効果

- 農業機械（チッパーシュレッダー2台）の共同利用によるコスト低減や農作業の受委託、地域活性化を図ることなどを目的としている。
- ビジョンを策定することにより、将来的にドローンの導入などスマート農業の可能性も検討され始めた。

【具体的な取組内容】



設立に向けての座談会



活動の一環であるユズの勉強会



ビジョンの策定

【主な機械・施設】

- チップーシュレッダー 2台



チップーシュレッダーによる粉砕

【課題・今後の取組】

- 現状、農業機械（チップーシュレッダー）の共同利用にとどまっているが、将来的には、他の作業やユズの共同防除などを視野に入れている。
- 平成24年に都積地区のビジョンを作成したが、10年以上経過しており、ビジョンの改訂に取り組む。
- 都積地区は高知市土佐山地区においても比較的若手後継者が就農しているので、組合員だけでなく、若手後継者も含めて地域の活性化を目指す。